ず生長し亦傷りて博士博言すること年久国と盜ひ
妄医たり然るに吳王夫差は特猟の行を思ひ民の苦を知
らず又国の勝不山河を巡て軍用かゝるすこゝ無き
為に故に国れ亡ぶ故に国れ亡ぶことを知て今時の諸侯
眠を暮くべきなり遠古に周の公位として王朝王たり
ども未仁義を以ひ礼智信を行ひて民武徳武勤を尊
び民の盛衰を案て政をなさんが為特猟をなして
田地に出てのひけるがゝ釣を問ひ遠く今日の獲物い能
らず獣をのみ獲ず不覇王の輔たらんと年
けるに怪しく思ひて特猟をなすなかれとて
泊す毎あり云位之を拒て国に帰り師範として
国を治めて云位崩じ跡の武王の武をなして紂王を亡し
周の武永く栄えて武王の武をなして紂王を亡し
毎の為なりとて山名一味を輔たり

羽源記巻之第十六終